

薬剤部

● 主な業務内容としては

- 初回患者さんへの薬剤説明
薬の効果・作用・副作用・投与スケジュール・使用方法など外来・入院ともに行っています。
- 入院患者さんの薬剤サポート
全ての薬剤について薬の効果・副作用のチェック等。



対象薬剤：レミケード（点滴）、ヒュミラ（自己注射）
ペンタサ注腸（注腸）
イムラン・プロGRAF（内服）

患者さんが薬剤について理解・納得し、安心して治療に取り組んでいただけるようサポートしています。
薬剤部

● IBDにおける主な治療薬

- 点滴
レミケード・・・炎症の原因となるTNF- α （腫瘍壊死因子）を阻害し、治療効果を発揮する。
クローン病に加え、2010.6から潰瘍性大腸炎にも適応となりました。
- 自己注射
ヒュミラ・・・TNF- α を阻害する完全ヒト型製剤。2010.10からクローン病に適応となりました。初回は入院での治療開始となり、以降は外来通院・自宅での治療となります。
- 内服・注腸
サラゾピリン・ペンタサ・アサコール・ペンタサ注腸・・・5-ASA製剤。
イムラン・プロGRAF・・・免疫調整剤。プロGRAF初回は入院での治療開始となります。
プレドニン・プレドニゾン・ステロネマ・・・ステロイド剤。
炎症を抑え、免疫を抑制する働きがあります。
- 経腸栄養剤
エレンタール・エンシュアリキッド・・・消化を必要とせず、直接栄養を吸収することができます。

